

問1 青年期は、子どもとしての保護された世界から離脱しつつも、未だ大人の社会に完全には受け入れられていない過渡期にあたる。このような、二つの異なる社会集団の境界に位置することで心理的な葛藤や不安定さを抱える青年の状態を「境界人（マージナル・マン）」と名付けた、ドイツ出身の心理学者は誰か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. レヴィン 2. オルポート 3. エリクソン 4. ルソー

問2 アメリカの文化人類学者ルース・ベネディクトは、第二次世界大戦中の日本研究をもとに著書『菊と刀』を著した。彼女はこの中で、西洋の「罪の文化」が個人の内面的な良心を基準にするのに対し、他者や世間からの評価や非難を意識して自らの行動を律する日本文化の特質を何と呼んだか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 罪の文化 2. 恥の文化 3. 和の精神 4. タテ社会

問3 医療技術の進歩や患者の権利意識の高まりを背景に、従来の医師主導の医療から、患者の自己決定を尊重する医療への転換が進んでいる。このうち、医師が病状や治療方針について適切な説明を行い、患者がそれを十分に理解した上で、自らの意思で治療に同意・選択することを何というか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. リビング・ウィル 2. デザイナー・ベビー 3. インフォームド・コンセント 4. クオリティ・オブ・ライフ

問4 欲求不満が生じた際、無意識のうちに自己を守ろうとする防衛機制のなかで、「好きな異性に対して、自分の好意を隠すために、わざと意地悪く接したり冷たい態度をとったりする」というように、本心とは正反対の態度を強調してとる行動パターンに該当するものを何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 退行 2. 昇華 3. 反動形成 4. 同一化

問5 人間の精神構造を、本能的欲求の領域、道徳的良心や社会規範の領域、そして現実原則に従って両者を調整する領域の3つに分類し、それらの不調和から生じる精神的危機に対処するために無意識のうちに働く心理的メカニズム（防衛機制）を提唱した、オーストリアの精神医学者は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. アドラー 2. クライン 3.フロイト 4. ホルナイ

問6 19世紀のヨーロッパにおいて、自らの社会の文明化の度合いを基準としてアジアやアフリカの文化を「遅れたもの」と評価し、自らの文化が他よりも優れているとみなして植民地支配を正当化したような、自らの属する集団の文化を基準に他文化を評価する態度を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. マルチカルチュラリズム 2. アシミレーション 3. エスノセントリズム 4. アカルチュレーション

問7 現代の生命倫理において、治癒の見込みがない病に冒され、耐え難い苦痛の中にある患者の自発的な要請に基づき、医師が致死薬を投与するなどして人為的に死を早める行為を何というか。なお、この行為はオランダやベルギーなど一部の国において、厳格な要件のもとで法的に容認されている。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 間接的安楽死 2. 医師補助自殺 3. 消極的安楽死 4. 積極的安楽死

問8 現代社会の諸課題を追究する際、収集したデータを適切に表現することが求められる。例えば、ある国におけるエネルギー源別の発電電力量の割合など、全体に対する各内訳の構成比率を視覚的にわかりやすく表現するのに最も適したグラフの名称を答えよ。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 円グラフ 2. 帯グラフ 3. 棒グラフ 4. 面グラフ

問9 日常生活における具体的な経験や、そこで生じる問題への対処を思考の出発点とし、たえざる経験の再構成を通じて知性を高めていくことを重視した。行動や実践を通じて真理を探究するプラグマティズムを大成し、民主主義社会の発展には教育が不可欠であると説いたアメリカの哲学者は誰か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. デューイ 2. パース 3. ジェームズ 4. ローティ